

ミニセミナー募集要項

ミニセミナーとは、本研究会会員の臨床実践力を OFF JOB ながら、ON JOB に近い形で SKILL UP するために、研究会員相互で学習することの機会を支援するものです。会員の皆さんが、自らの学習意欲と我儘（探究心・向上心・好奇心）を満たすために本研究会会員を講師として立案する研修会を支援（講師調整、旅費等の補助）するものです。

本チラシに掲載している内容は、本会企画委員が講師として実施可能な研修例です。

セミナー企画の参考としてご活用いただき、掲載テーマから選んでいただくことも、会員の皆さまによるオリジナル企画をご提案いただくことも可能です。「興味はあるけれど企画の進め方が分からない」「講師をしてみたいけれど不安がある」という場合も、ミニセミナー事務局がサポートします。

まずはお気軽にご相談ください。

募集内容

主催者：会員 1 名以上で開催可能

参加者：5 名以上（会員外でも参加可能）、および本会 ML の公募に応募した会員

テーマ：できるだけ具体的に学びたいテーマをお聞かせください

講師：本会会員。講師選定については相談支援をいたします。具体的に希望する講師があれば応募・相談フォームに記入してください。

会場：主催者側でご用意ください。

開催時間：主催者側で設定し、担当講師にご相談ください。

費用：講師にかかる諸経費（交通費、食費、宿泊など）は本会が負担します。

謝礼のみ参加者でご負担ください。（1 万円/90 分×□コマ程度で）

開催情報：会員 ML で周知し、参加者を募集してください。

＊開催後は規定の報告書（2 枚以内）にまとめて会員 ML へ報告。

申込期間：随時（今年度のミニセミナー予算に達した時点で募集は終了します）

申込方法：下記 URL か QR コードから Google フォームに必要事項を記入して応募。
相談のみでも受け付けています。

申込先：<https://forms.gle/vYUL8afQ1RSj57mm6>



問合せ先：事務局 繁田圭一 kkkkkkksk7@yahoo.co.jp

企画委員が講師として実施可能な研修例

講師名	テーマ
高塩 純一	①電動移動機器 ②Spider ③FUN（Funから始まる・Funを育む 障がいや病気のある子どもの支援）
金子 断行	症例検討
黒川 洋明	①「F-words」から考える子どもたちの生活支援 ②「栄養」から考える子どもたちの生活支援 ③「呼吸」から考える子どもたちの生活支援（初学者向け）
花井丈夫	①楽しくなる聴診、自信が持てるようになる聴診（3時間程度） 実際の演習（実習）を通して、聴診をすることが楽しくなる、また聴診に対して自信が持てるための行動習慣を紹介したいと思います。これは、私が横浜療育医療センターのスタッフに、実際に紹介している方法です。 ②初心者に伝えるための肺理学療法のポジショニングと体位変換（4時間程度） ポジショニングや体位交換の方法を、家族や他職種の方に伝える方法の紹介です。コロナ前の数年間、「関西看護研究会」主催のセミナーで実際に演習として実施していた方法を紹介できます。 ③重症児者にフォーカスした肺理学療法とその手技（3時間以上） 肺理学療法とは、肺胞換気を改善する理学療法です。私は、わが国において肺理学療法というカテゴリーを創設した故伊藤直栄先生から直接手技を指導され、重症児者に実施した初期の理学療法士です。呼吸理学療法や呼吸リハとはニュアンスが異なる肺理学療法は「呼吸介助」という手技で知られていると思いますが、その意味や重症児者に適したその他の手技の適応など、演習を通じて紹介できます。 ④自分の個性を活かすコーチング入門と感情労働者としての気づき（3時間以上） 対人サービス職を「感情労働者」と表現することがあります。言語よりも身体全体を使わなくてはコミュニケーションできない重症児者や児童に対しては、自身の感情をコントロールして利用児者と接することが重要です。彼らの感情も含めて反応に取り組むと同時に自分自身の反応（感情）に取り組むには、私が受講した「日本コーチング連盟」のコーチングの考え方が適していると思っています。私はこのプログラムを終了後、幾度と横浜療育医療センターやその運営法人リハ部門スタッフにコーチングの研修を行い、この研修の指導に習熟しています。
奥田 憲一	非対称変形の評価と理学療法プログラム、ポジショニングの考案
岡田 雄一	シーティングについて、理論と実践を通して考える
上原 隆浩	①姿勢保持能力への支援（初学者編）一車椅子、姿勢保持装置を作る際に私が見ているところー ②呼吸機能への支援（初学者編）一重症心身障害児・者入所施設での理学療法やRST活動で見ているところー ③ロボットを使ったリハビリーロボットスーツHALを使ったリハビリについてー ④重症心身障害児者入所施設でのPTの役割 ⑤重症心身障害児者入所施設での新人教育について ⑥行動面に特性のある入所利用者に対する理学療法について
要 武志	①誰でもできる起業 継続が難しい経営 ②重症心身障害児のアクティビティー ダイナミックに動くこと ③どこから始める？アニマルセラピー ④イベント企画・運営
長谷川 大和	①保育所等訪問等の外部への訪問支援について ②私の考える放課後等デイサービスや児童発達支援などの預かりにおける理学療法士の役割について ③多職種へのスキルの伝達方法（簡単な抱っこセラピーや、ポジショニングの伝達方法、介助方法についての伝達など）
繁田 圭一	重症心身障害児・者に対するセラピーについて ①姿勢制御・運動制御に対して行っている事～ハンドリングに必要な知識～ ②シーティングなどの環境支援について ③重症心身障害児・者に対しての呼吸支援
北山 良平	脊柱側弯に対するアプローチ ～硬くて重たい身体から柔らかくてしなやかな身体を目指して～ 内容：脊柱レントゲンの読影 ランドマークの触診 脊柱の運動解剖学 間主観的共同身体操作・抱っこセラピーなど